ここではファイルメニューについて説明します。

ここをクリックするとメニューが表示されます。 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 閉じる(0) 1 ファイル書き出し(D)... 2 インポートとエクスポートの (3) ページ設定(U)...-4 印刷プレビュー(V)...-(5) ED刷(P)... Ctrl+P (6) 終了巛 (7)

閉じる

表示されている検索パレットや四季報画面を閉じます。右上の をクリックするのと同じです。



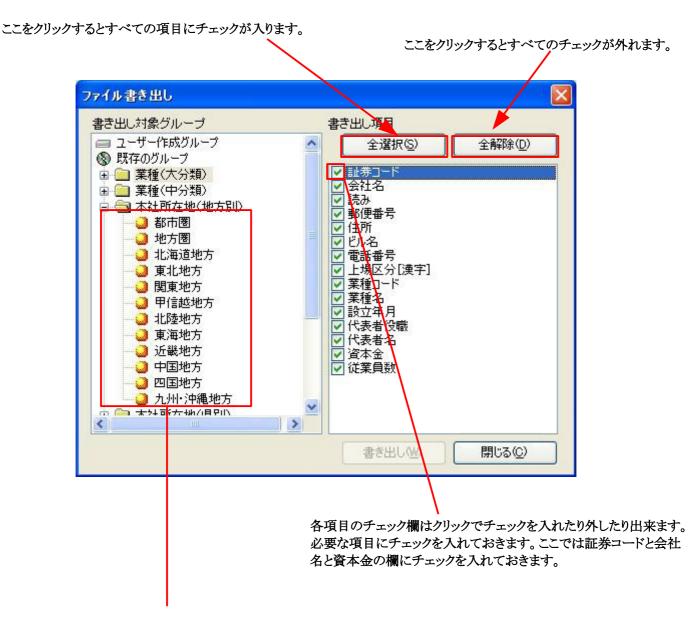
ここをクリックするのと同じです。 [閉じる]を 一回クリックするとアクティブになっているウィ ンドウが閉じます。

② ファイル書き出し

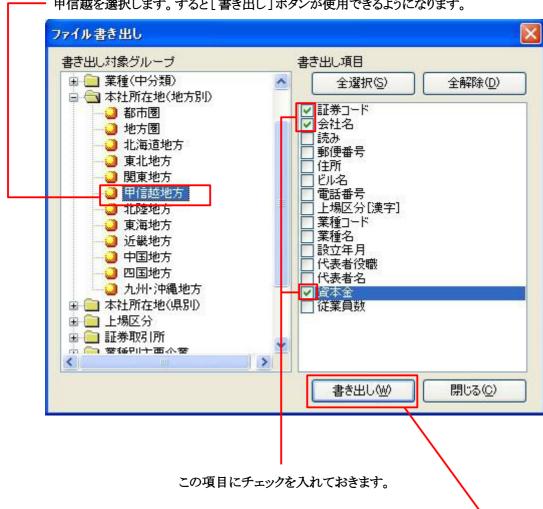
ここでは会社の所在地情報などを抽出しエクセルファイルとして保存します。株価などのデータは検索パレットメニューで行います



ここでは甲信越地方の証券コードと会社名と資本金をエクセルファイルに書き出して見ます。

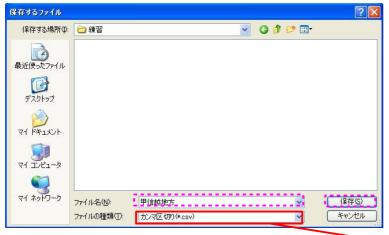


ここで選択した項目の情報を書き出します。ここでは甲信越を選択します。



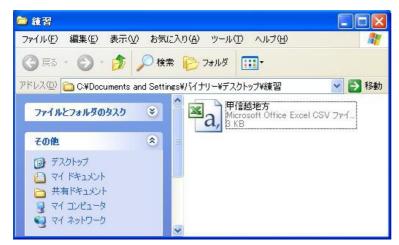
甲信越を選択します。すると[書き出し]ボタンが使用できるようになります。

設定が終了したらここをクリックして書き出します。



すると[保存するファイル]ダイアログボックスが表 示されるので適当な場所に適当なファイル名をつ けて保存します。ここでは練習フォルダに甲信越 地方という名前で保存します。

今回はカンマ区切りで保存します。他の形式につ いてはエクセルで調べてみてください。



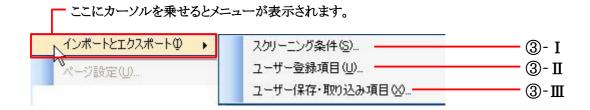
練習フォルダを確認してみるとちゃんとファイルが 保存されています。

エクセルで開いてみるとこんな感じです。これを使ってわかり易いように編集するといいでしょう。



③ インポートとエクスポート

ここではおのおので作成したスクリーニング条件や項目などを保存したり読み込んだりします。



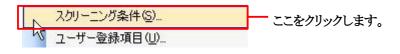
③- I スクリーニング条件

スクリーニング条件を外部ファイルに保存または外部ファイルを読み込みます。

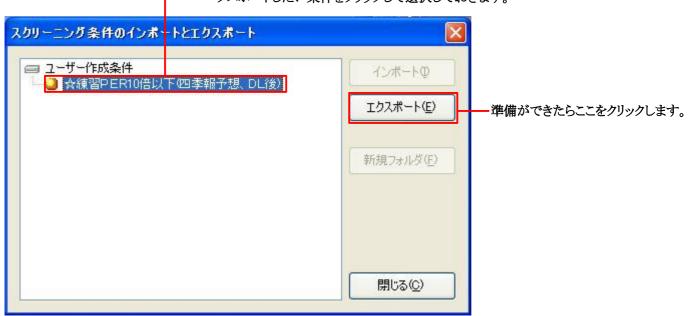
エクスポート

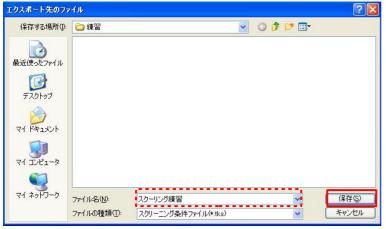
まずはエクスポート(外部ファイルに保存)を行ってみます。とりあえず練習用に PER 10倍以下の会社を探し出すスクーリング条件を作っておきました。この条件 をエクスポートしてみます。



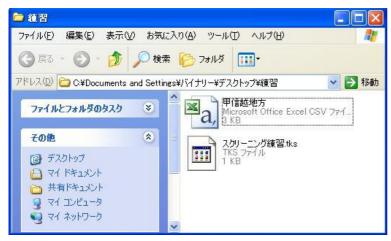


___ [スクリーニング条件のインポートとエクスポート]ダイアログボックスが表示されるのでエクスポートしたい条件をクリックして選択しておきます。





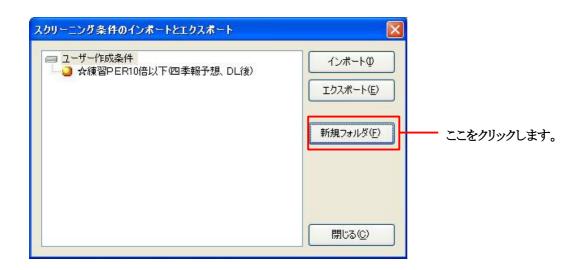
[エクスポート先のファイル]ダイアログボックスが表示されるのでファイル名(ここでは「スクーリング練習」)をつけて保存をクリックします。ファイルの種類はこのままでいいです。 保存先フォルダはここでは練習フォルダを指定しています



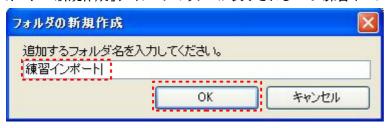
保存をしてから練習フォルダを開いてみるとちゃんとスク リーニング練習というファイルがありました。

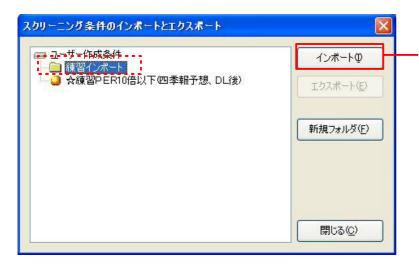
インポート

今度はインポートを行います。まずは区別をしたいので新規フォルダを作成してそこにインポートしてみます。

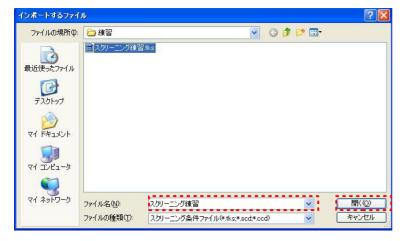


[フォルダの新規作成]ダイアログボックスが表示されるので「練習インポート」と名前をつけて[OK]をクリックします。

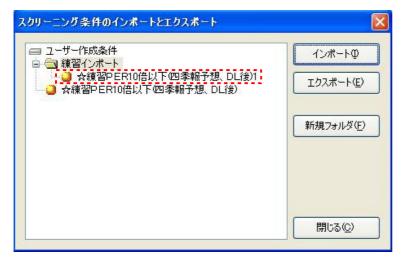




先程作成した「練習インポート」フォルダを選択して から[インポート]ボタンをクリックします。



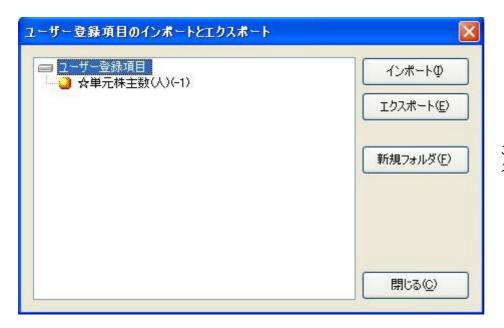
エクスポートしておいたファイルを選択し、[OK]をクリックします。



用意しておいたフォルダの中にスクーリング条件がインポートされました。

③-Ⅱ ユーザー登録項目

ここではユーザーが作成したスクーリング項目のインポートエクスポートを行います。スクーリング項目の作成の仕方はスクーリングのやり方をご覧ください。インポート、エクスポートのやり方は[スクーリング条件]の場合と同じですので省きます。



この様な画面です。 スクーリング条件]の場合と同じです。

③-Ⅲ ユーザー保存・取り込み項目

ここの項目はいまひとつ意味がわかりませんので説明はいたしません。

④ ページ設定

ここではどのように印刷を行うのかを設定します。④⑤⑥は他のソフトにも同じ機能を持っているものはたくさんあるのでここでは説明は簡単にしておきます。



とりあえず何かを表示していないとメニューがグレー状態になっているため使用出来ないのでとりあえず適当に 会社情報を表示しておきました。



すると[ページ設定]ダイアログボックスが表示されるのでどんな感じに印刷するのかを設定します。



印刷の向き

印刷する向きを縦なのか横なのかを設定します。

印刷サイズ

印刷しようとしている画像をどのくらいの大きさで印刷するのか、また、用紙のサイズなどの設定を行います。

余白

用紙の隅の空白をどれくらい空けるのかを設定します。

印刷タイトル

ここの項目はデータ項目が縦に長いか横に長い場合にのみ使用できます。2ページ目以降の印刷画像のタイトルを設定できます。

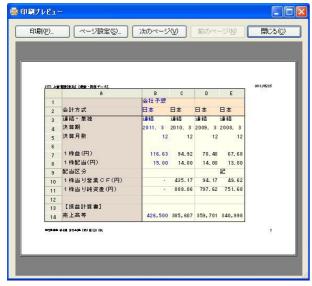
列番号



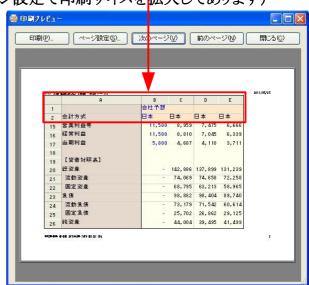
例えば上新電機の財務データ(左)を複数ページ にわたって印刷使用とします。

印刷タイトル					JF-0	
タイトル行(W): 開始行	1	~	_	終了行	2	~
タイトル列(<u>R</u>): 開始列	Α	*	_	終了列	А	~

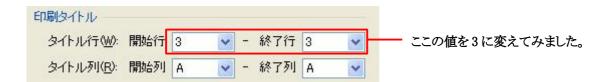
印刷プレビュー画像(見易くするためにページ設定で印刷サイズを拡大してあります)



1ページ目



2ページ目以降は1行目と2行目のデータが先頭のタイトルとして表示されます。





すると今度は2ページ目以降のタイトルは3行目 の連結・単独の行となりました。 ※1ページ目は変わっていません。

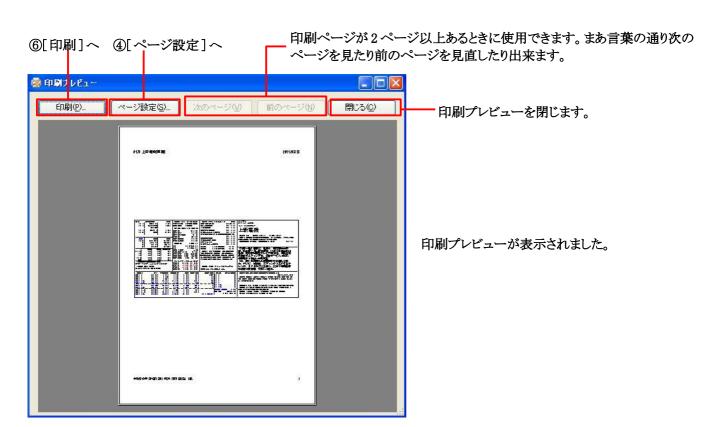
タイトル列も基本的にはタイトル行と使い方は同じです。ただ横に長いデータなのか縦に長いデータなのかの差でしかありません

バイナリーパソコン教室 2-14

⑤ 印刷プレビュー

どのように印刷されるのかを事前に確認できます。





6 印刷

実際に印刷を行います。



[印刷] ダイアログボックスが表示されるので部数などの設定を行い最後に [OK] をクリックして印刷を開始します。ここではそれぞれの解説は行いません。



⑦ 終了

会社四季報 CD-ROM を終了します。

